

病害虫発生予察情報

向こう1ヶ月(9月)の予報

平成23年度 予報第5号

東京都病害虫防除所

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

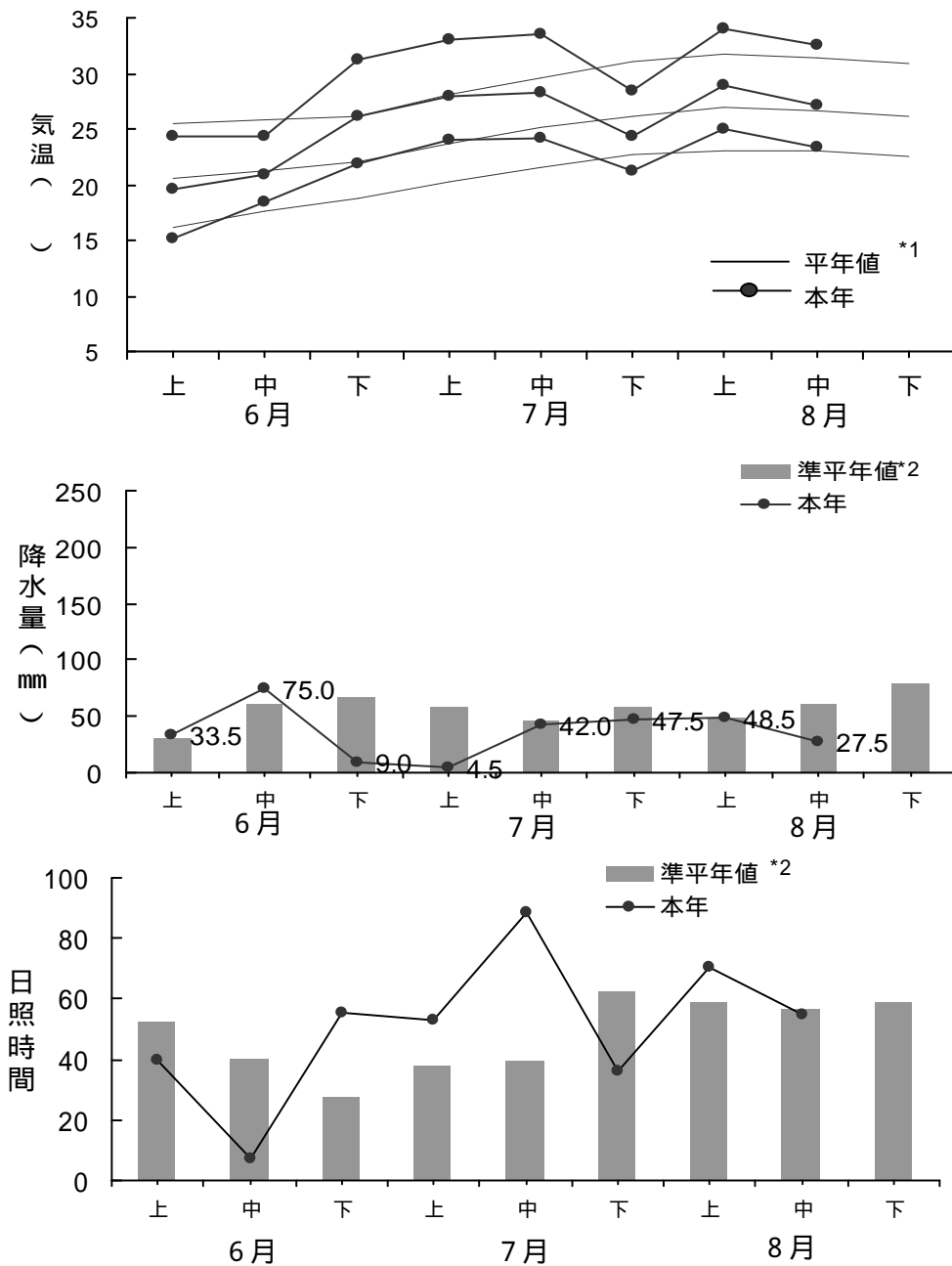
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】平成23年8月26日 気象庁 地球環境・海洋部発表, 関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	20	40	40
	降水量	10	30	60
	日照時間	30	40	30

【気温・降水量・日照時間の経過】 準平年値と本年の8月中旬までのデータを示した。
(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1: 1981-2010の平均値, *2: 1987-2010の平均値

トマト黄化葉巻病（TYLCV）の発生に注意しましょう！！

8月の定期巡回調査において一部地域でトマト黄化葉巻病の発生が確認されています。また、媒介虫であるタバココナジラミの発生も昨年より多くなっています。

本病感染株は上位葉の小型化、葉脈間の黄化、葉の巻き上がり等の症状が認められる他、開花・結実不良となるため収量に大きな影響を与えます。

発病株や疑わしい株は速やかに抜き取り、ビニール等で密封し、完全に枯死させてから廃棄してください！

タバココナジラミの防除には都内で優占種となっているバイオタイプQに効果の高い殺虫剤を使用しましょう！

【病害虫発生予報】（各根拠に記した（ ）内記号は発生助長要因の強度を示す）

イネの病害虫

1. いもち病（穂いもち）

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は並～高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 水田をよく観察し、現在、葉いもちの発生が認められる場合は、今後の天候に留意し薬剤を散布する。

2. 紋枯病

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は平年並である。(±)
- 2) 気象予報によれば気温は並～高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

3. 斑点米カメムシ（主にアカヒゲホソミドリカスミカメ、クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ）

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 水田周辺の雑草地におけるすくい取り調査では、発生量はいずれの種類もやや多い。(+)
- 2) ホソハリカメムシならびにアカヒゲホソミドリカスミカメの予察灯への誘殺数は並～やや多かった。(+)
- 3) 今後、出穂が進むと雑草地から水田へ侵入する。(+)
- 4) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 穂揃い、開花の遅れている水田では発生に注意する。
- 2) 防除指針に従い防除する。
- 3) 地域ごとに一斉防除すると防除効果が高い。

4. トビイロウンカ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生を確認できない。(-)
- 2) 予察灯への飛来は現在まで少ない。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 本種は東南アジア等から梅雨期に飛来し、秋にかけて世代を繰り返し密度を増加させる(秋ウンカと呼ばれる)。
- 2) 著しく発生量が多くなると9月下旬から10月にかけて坪枯れを起こす。
- 3) 発生を見たら防除指針に従い防除する。

5. セジロウンカ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回による調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 予察灯への飛来は少ない。(-)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

果樹の病虫害

1. 果樹共通 チャバネアオカメムシ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 予察灯及びフェロモントラップへの飛来は少ない。(-)
- 2) 本種の主要な餌であるスギ、ヒノキ科植物の球果発生量が多い。そのため同林での発生量も多い。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は並～高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 園内を見回り早期に飛来状況を把握する。
- 2) 果樹園付近のスギやヒノキなどの実に飛来してくる成虫の観察を行って、今後の発生量に注意する。
- 3) 袋がけなどで果実への加害を予防する。
- 4) 飛来数が多い場合は防除指針に従い防除する。

茶樹の病虫害

1. 炭疽病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は並～高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

2. カンザワハダニ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では 8 月の寄生葉率は 0 % で少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生の多い園では防除指針に従い防除する。

野菜の病害虫

1. キャベツおよびブロッコリーの黒腐病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は少～やや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は並～高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

2. コマツナおよびカブの炭疽病（露地）

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は並～高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。
- 2) 雨よけは本病の防除に有効である。

3. アブラナ科野菜類のコナガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、定植後のキャベツやブロッコリーでの発生は各地とも少ない。(-)
- 2) フェロモントラップおよび予察灯調査では誘殺数はやや少ない。(-)
- 3) 今後、増加期に当たる。(+)
- 4) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針を参照して作物ごとに防除する。

4. アブラナ科野菜類のハイマダラノメイガ（ダイコンシンクイムシ）

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生が平年並である。(±)
- 2) フェロモントラップには 8 月第 1 半旬に誘殺された。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。また防除指針のハイマダラノメイガの

項を参照する。

- 2) 播種後から寒冷紗などの被覆資材により成虫の侵入を防止する。
- 3) 寄生株率は圃場ごとの変動が大きい。

5. アブラナ科野菜類のキスジノミハムシ

予報内容

発生量 並～やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査ではアブラナ科作物での発生はやや少ない。(-)
- 2) 予察灯への誘殺数はやや多い。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 作物ごとに防除指針に従い防除する。
- 2) 播種後から寒冷紗などの被覆資材により成虫の侵入を防止する。

6. ナスのうどんこ病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は並～高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

7. ナスのハダニ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

8. ナスのチャノホコリダニ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、発生を確認できない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は高く、降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

9. ネギのさび病

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば気温は並～高く、降水量は多いと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地のトマト，ナス等で発生が認められる。また，一部の地域ではキャベツ，キクで発生が多い。(+)
- 2) フェロモントラップ調査では誘殺数はやや多い。(+)
- 3) 増加期に当たる。(+)
- 4) 気象予報によれば気温は高く，降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 果菜類の幼果や花き類の蕾を好むので排泄糞に注意，被害果や花蕾を放置せず，速やかに処分する。
- 2) キャベツ，ハクサイ，トマト，ナス，インゲン，ピーマンなどのほか，バラ，キク，カーネーションなども加害する。
- 3) 作物ごとに防除指針を参考にして防除する。

キクの病害虫

1. アブラムシ類 (ワタアブラムシ・キクヒメヒゲナガアブラムシ)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 予察圃場および巡回調査では，各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 年間の発生消長から見ると今後増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば気温は高く，降水量は多いと予想される。(±)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従って薬剤を散布する。

テレフォンサービス
0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

防除所ホームページアドレス
<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予報，発生状況，防除方法などをお知らせ
しています。

防除指針オンライン版平成 23 年度版公開中！
(防除指針正誤表等最新情報をご確認下さい)

農薬に関する詳しい情報は，農林水産省ホームページの
「農薬コーナー」をご覧ください。

(<http://www.maff.go.jp/nouyaku/>)